

証券コード:5943

新しい幸せを、わかすこと。



2011年(平成23年)12月期 決算説明資料

2012.02.10

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

グループビジョン

新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて、暮らしの感動を追求する ノーリツグループ

ブランドメッセージ

エコ * リラ * キレイ

Ecology _ Relax _ Clean&Beauty

基本方針

- ・経営基盤の安定と持続的成長を実現する
- ・従業員が自信と誇りをもてるノーリツグループにする

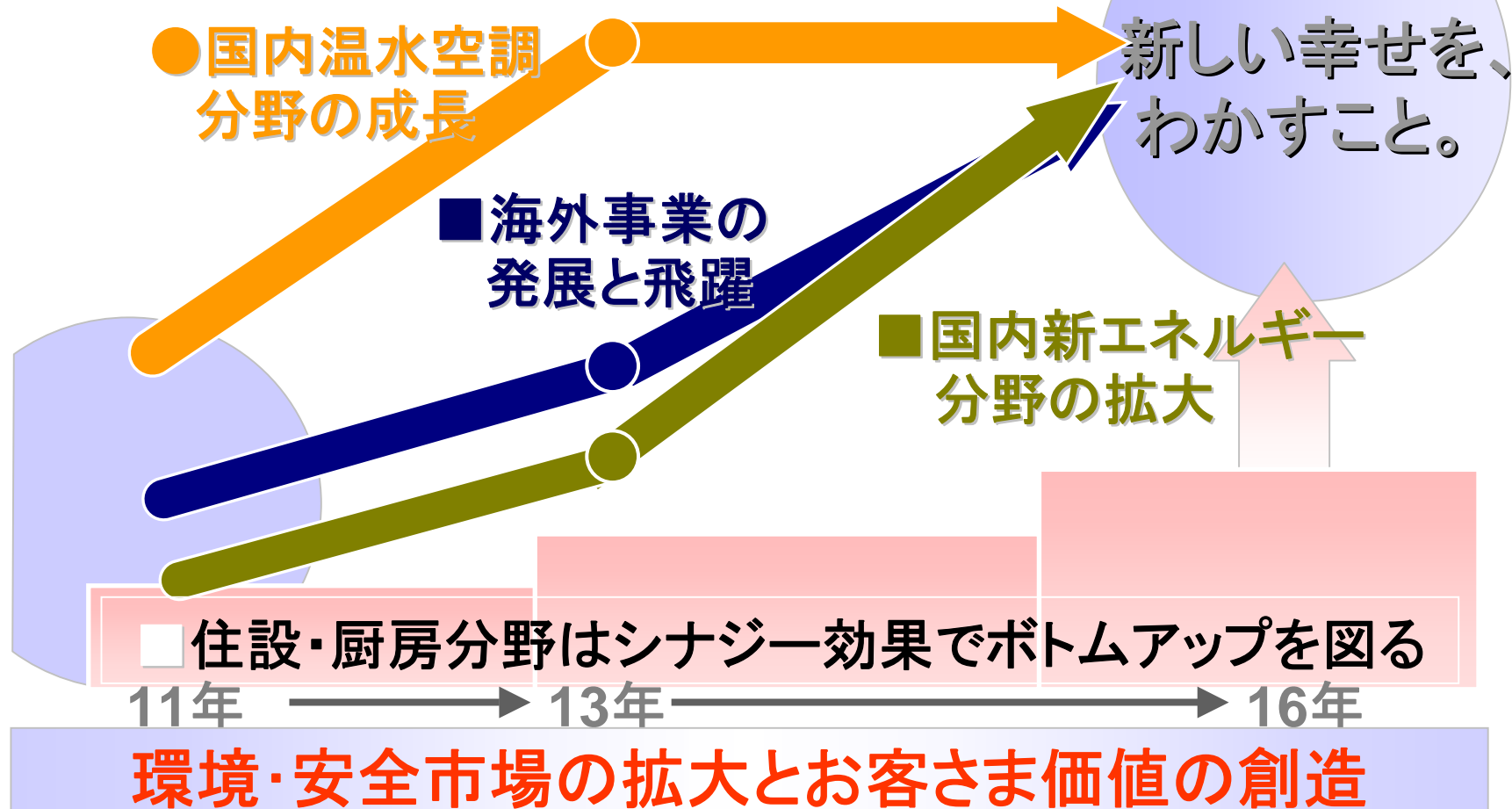
「成長戦略」の実現

「強いブランド」の実現

「強い連携」の実現

「強いチーム」の実現

新製品にこだわり国内・海外で成長を図る





2011年(平成23年)12月期 財務・業績概要

2011年(平成23年)12月期のトピックス

外部環境

- 東日本大震災、タイの洪水による混乱
- 震災復旧需要、節電、省エネニーズの高まりと再生可能エネルギーへの注目
- 円高、欧州経済の混乱、中国GDP伸び率の鈍化など世界経済の低迷

国内事業の主な取り組み

- グループ会社の再編
- エコジョーズの拡販
- 新エネルギー分野の拡大

海外事業の主な取り組み

- 中国は内陸部の取り組み強化
- 北米は経営の立て直し
- 新製品投入による競争力強化

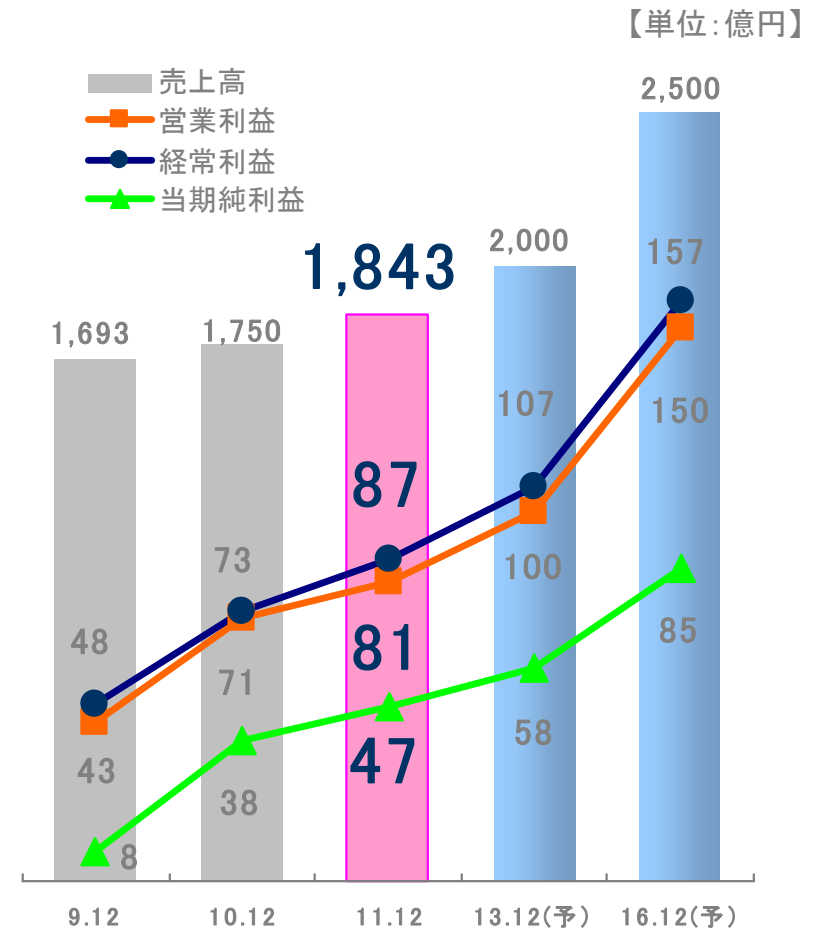
売上高2,000億円、営業利益100億円達成に向けた課題

経営基盤の安定化を図る

- ・成長事業の育成(新エネルギー分野、海外事業)
- ・経営体質の強化(バリューチェーンの改革)

中期経営計画が着実に進捗

■ 売上高	: 1,843億円 (5.3%増)
■ 営業利益	: 81億円 (14.6%増)
■ 経常利益	: 87億円 (17.9%増)
■ 当期純利益	: 47億円 (24.9%増)
■ ROE	: 5.7%
■ ROA	: 3.3%



※年間平均為替レート 1ドル:79.63円/1元:12.35円

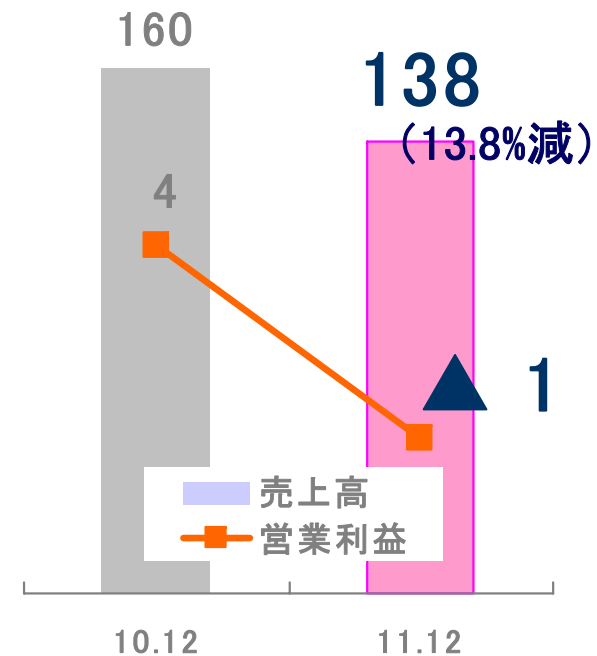
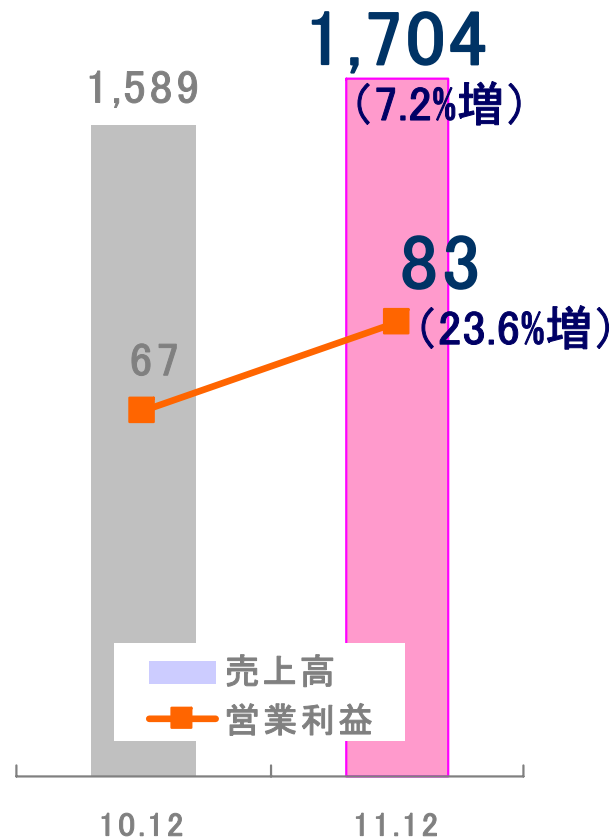
国内事業は増収増益、海外事業は減収減益

■国内事業

■海外事業

【単位:億円】

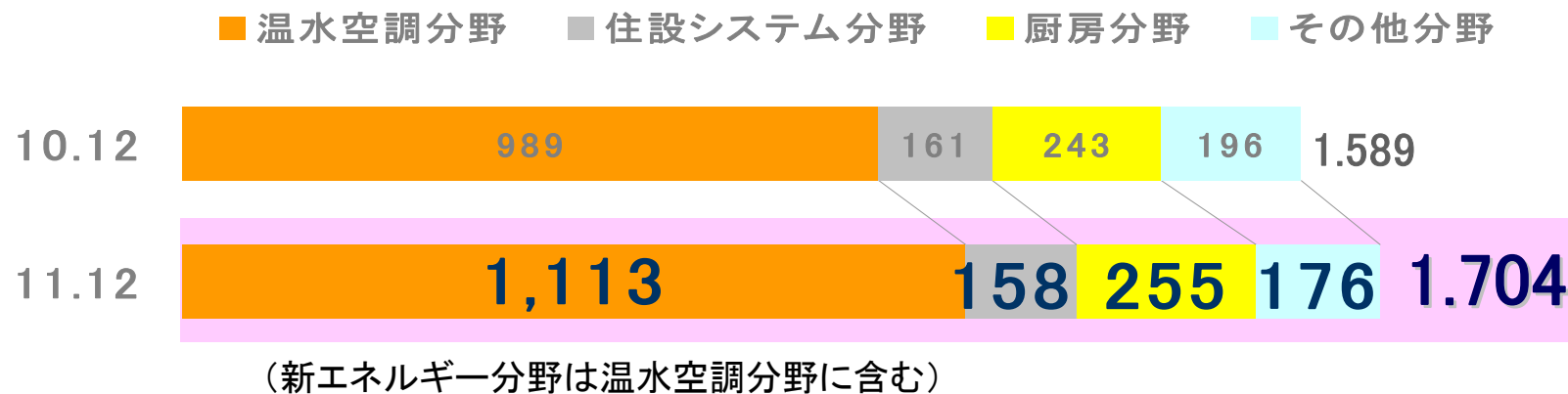
【単位:億円】



2011年(平成23年)12月期 経営成績 セグメント

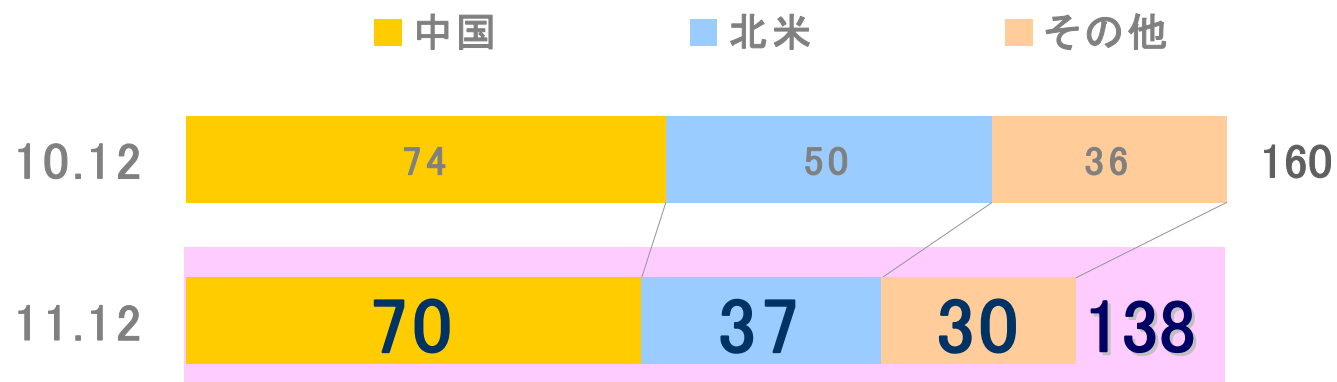
■国内事業(分野別)

【単位:億円】



■海外事業(エリア別)

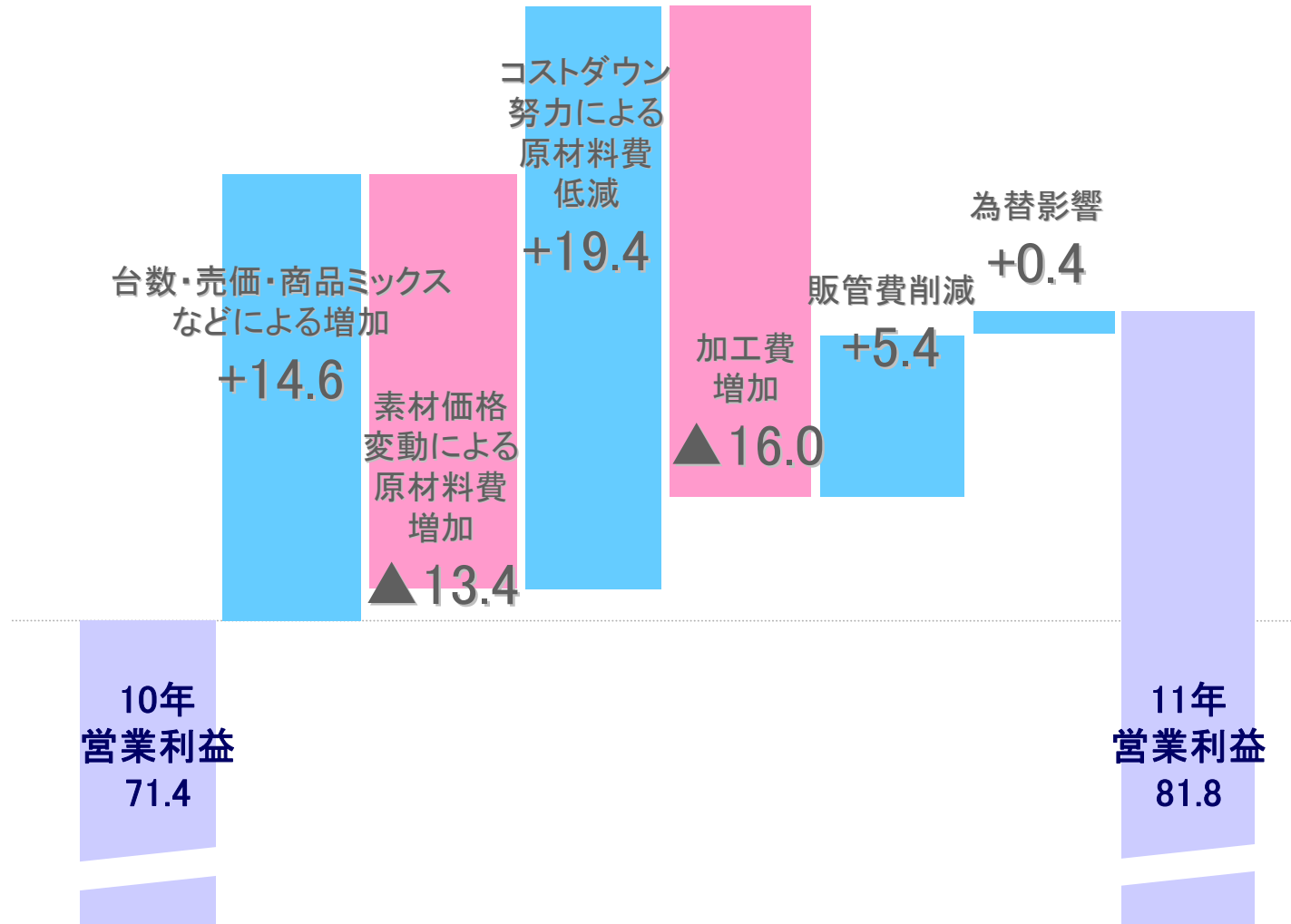
【単位:億円】



2011年(平成23年)12月期 経営成績 営業利益 増益要因

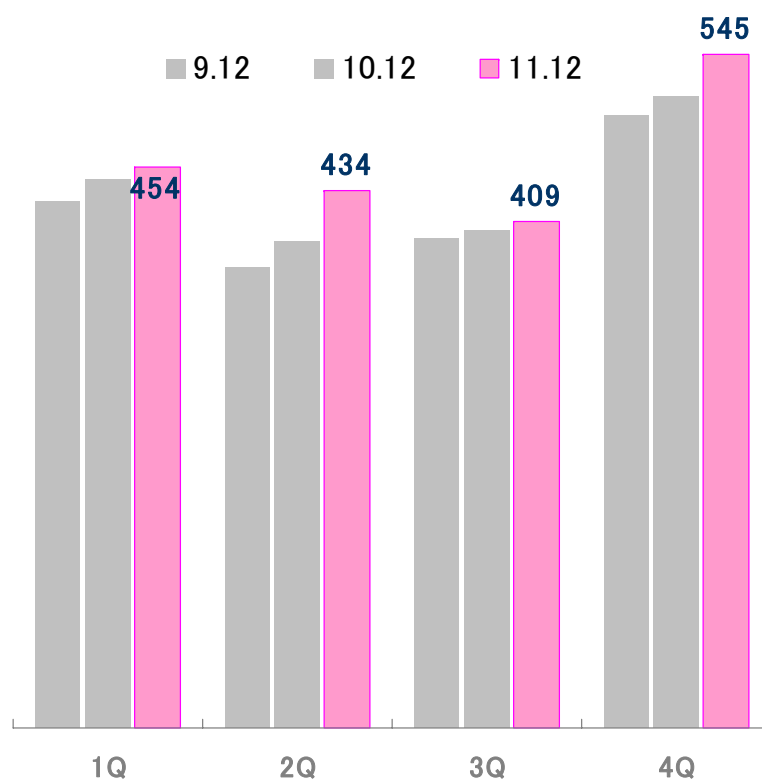


【単位: 億円】



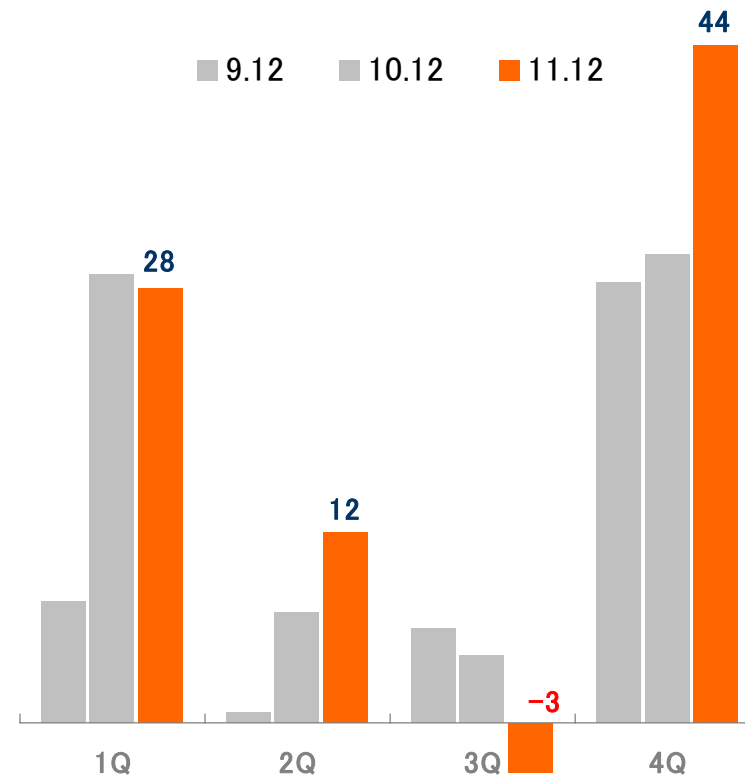
■ 四半期売上高推移

【単位:億円】



■ 四半期営業利益推移

【単位:億円】





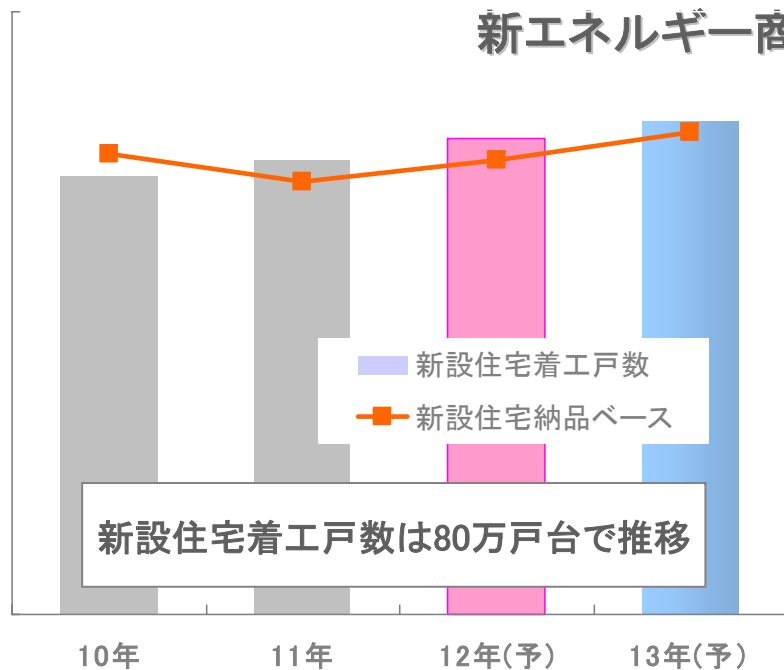
2012年(平成24年)12月期 業績計画

2012年(平成24年)12月期 外部環境①

国内

【単位:千戸】

エコジョーズとガスビルトインコンロの需要が増加
新エネルギー商材の普及が加速



(お客さま)

- 環境、省エネニーズの高まり
- 安全、安心ニーズの高まり
- 節電意識の高まり

(住宅業界)

- 新設住宅着工戸数は微増
- 中古住宅市場、リフォーム市場の拡大
- 省エネ住宅への優遇拡大
(フラット35Sエコ、復興支援・住宅エコポイント)
- 再生可能エネルギー全量買い取り制度開始
- ガス機器業界13年エコジョーズ標準化宣言

中国

- GDP伸び率鈍化など経済成長の減速
- 人件費の高騰
- 内陸部でのガス需要拡大

北米

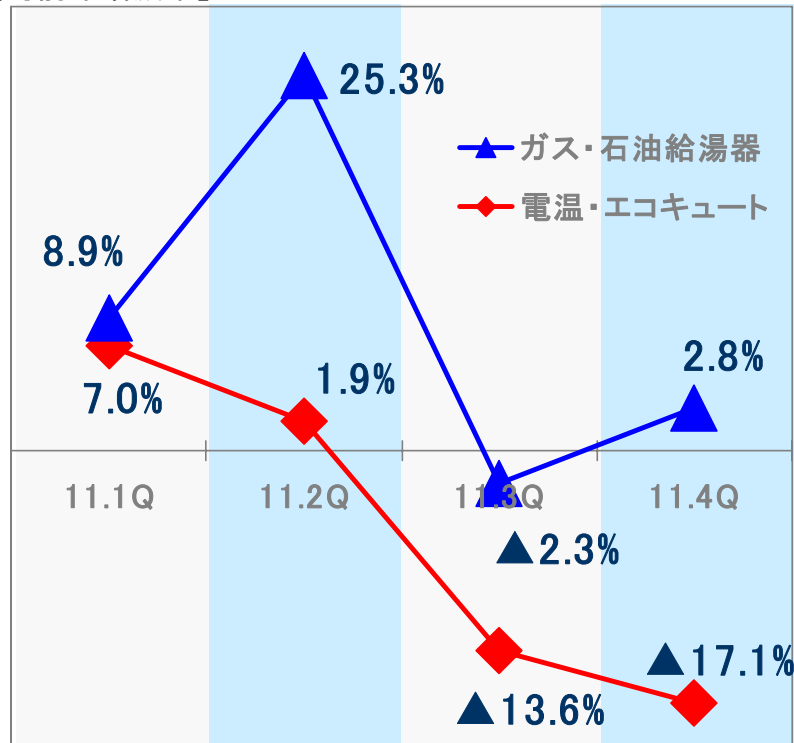
- 住宅市場は依然低迷
- 環境規制の強化(低NOx20ppm)
- コンデンシングタイプの需要増加

2012年(平成24年)12月期 外部環境②

国内温水機器需要推移 (11年四半期別)

高水準を維持

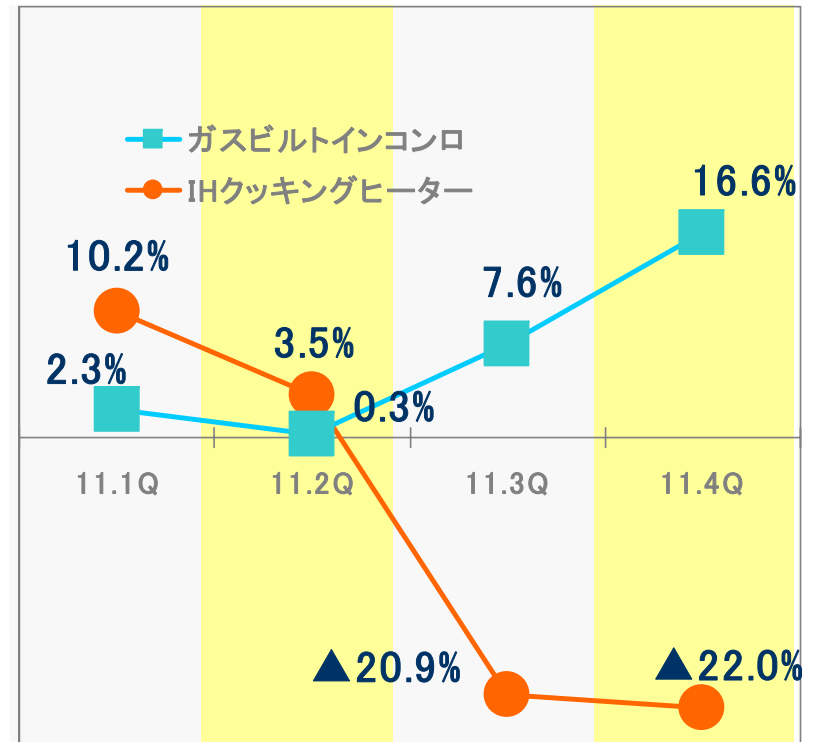
【対前年増減率】



ビルトインコンロ需要推移 (11年四半期別)

市場環境が好転

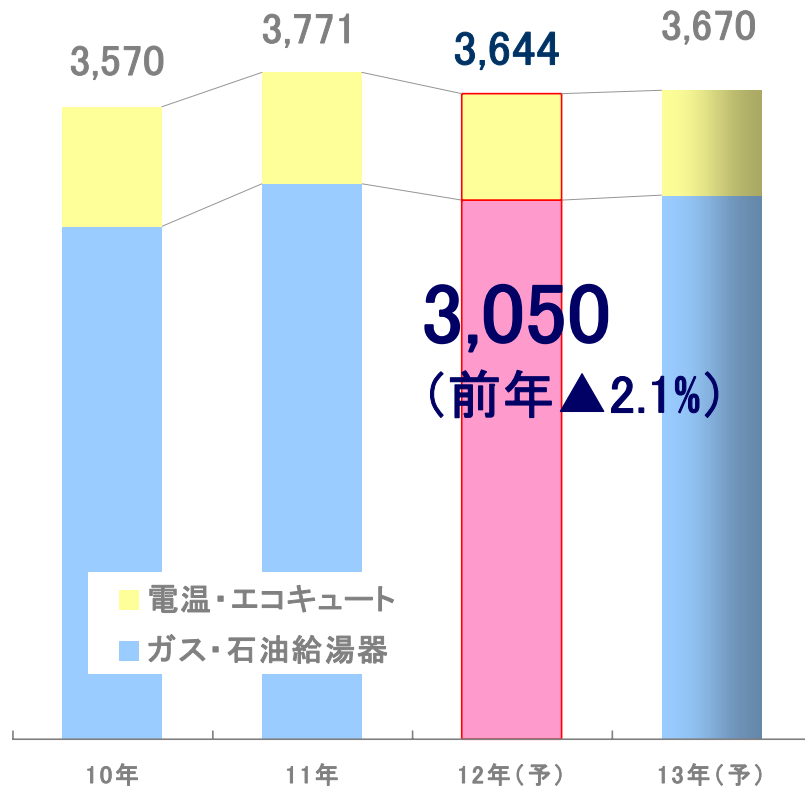
【対前年増減率】



国内温水機器需要予想

ガス石油給湯機器は前年2.1%減少

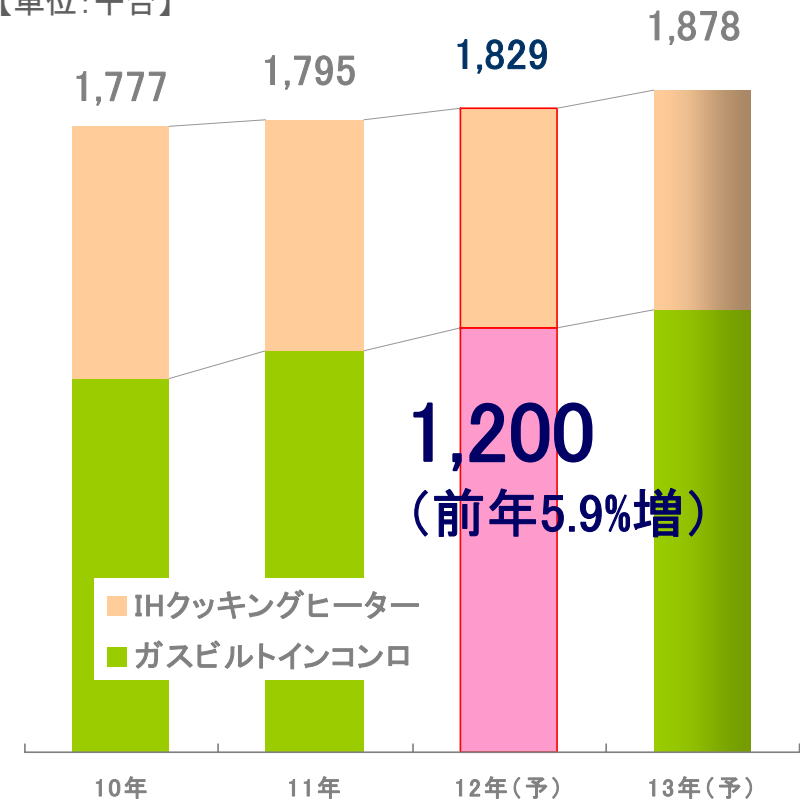
【単位:千台】



ビルトインコンロ需要予想

ガスビルトインコンロは前年5.9%増加

【単位:千台】

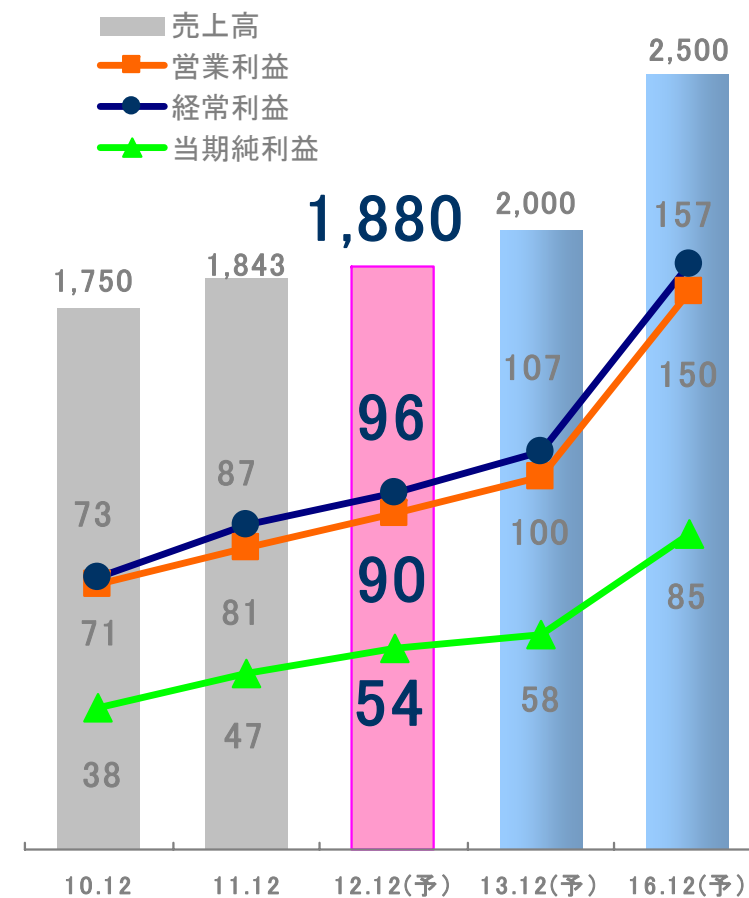


※1口除く

営業利益100億円達成に向けた布石の年とする

■ 売上高	: 1,880億円 (2.0%増)
■ 営業利益	: 90億円 (9.9%増)
■ 経常利益	: 96億円 (10.3%増)
■ 当期純利益	: 54億円 (12.5%増)
■ ROE	: 6.2%
■ ROA	: 3.5%

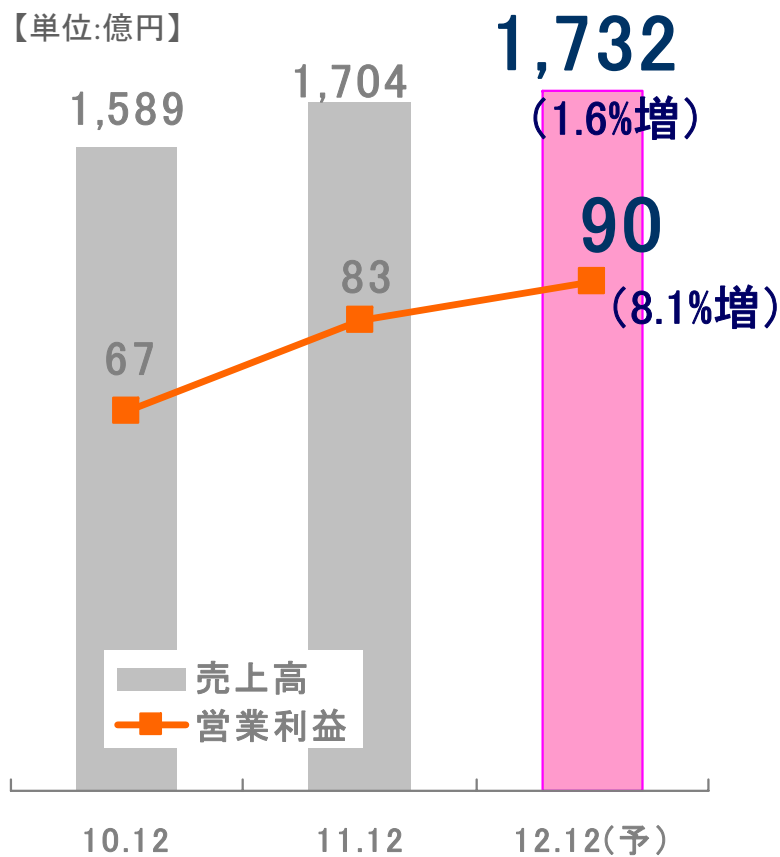
【単位:億円】



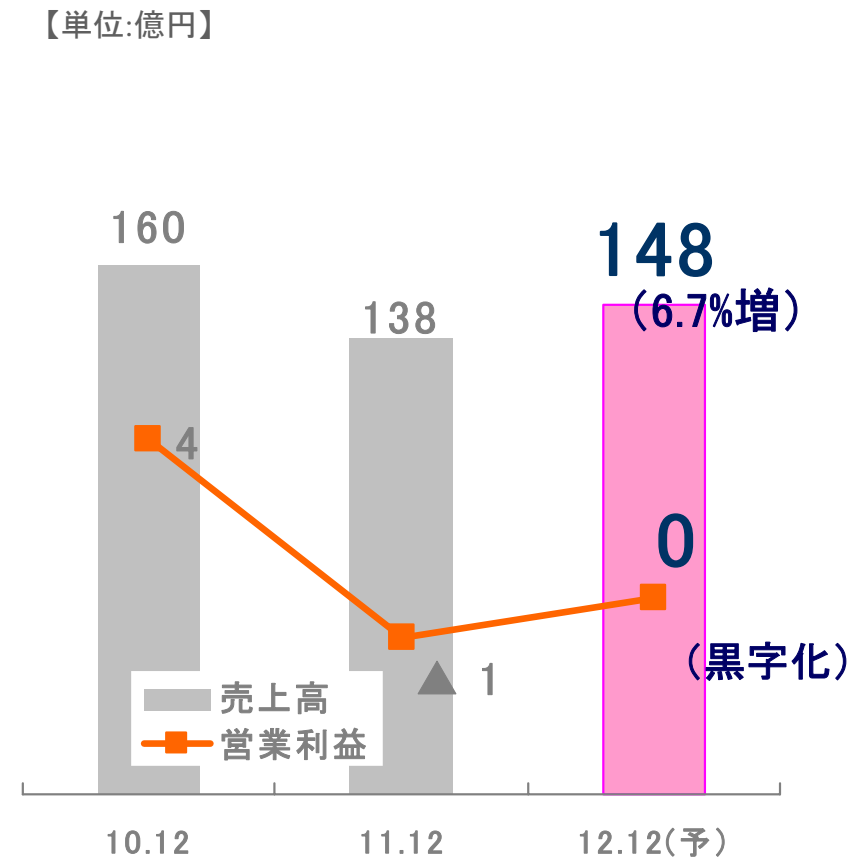
※年間想定平均為替レート 1ドル:78円/1元:12.21円

国内、海外事業ともに業績を拡大する

■国内事業

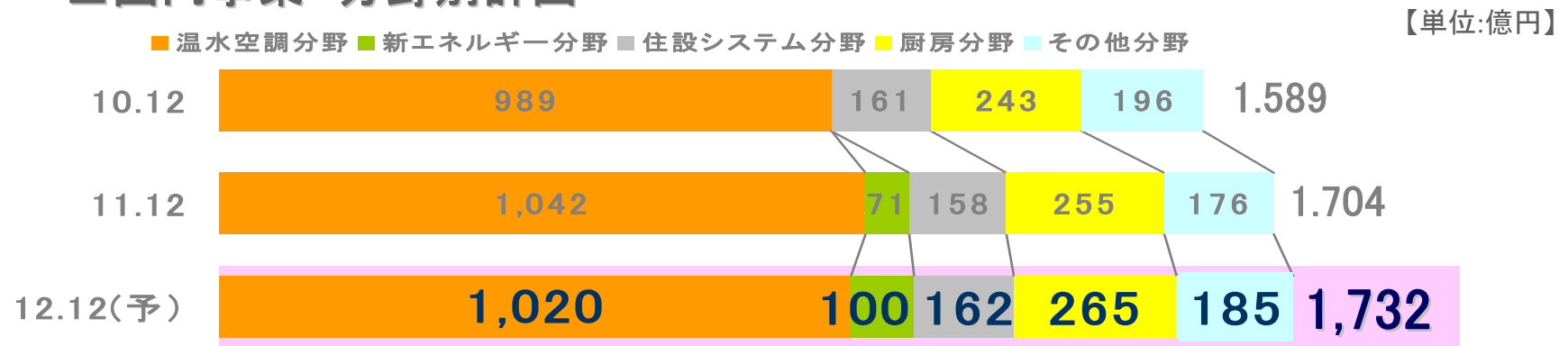


■海外事業



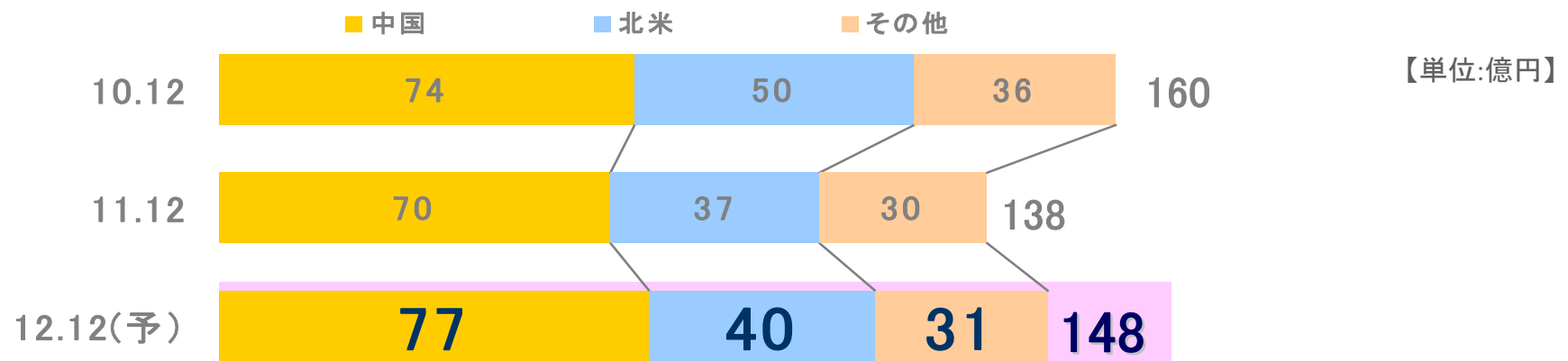
新エネルギー分野と海外事業に注力する

国内事業 分野別計画

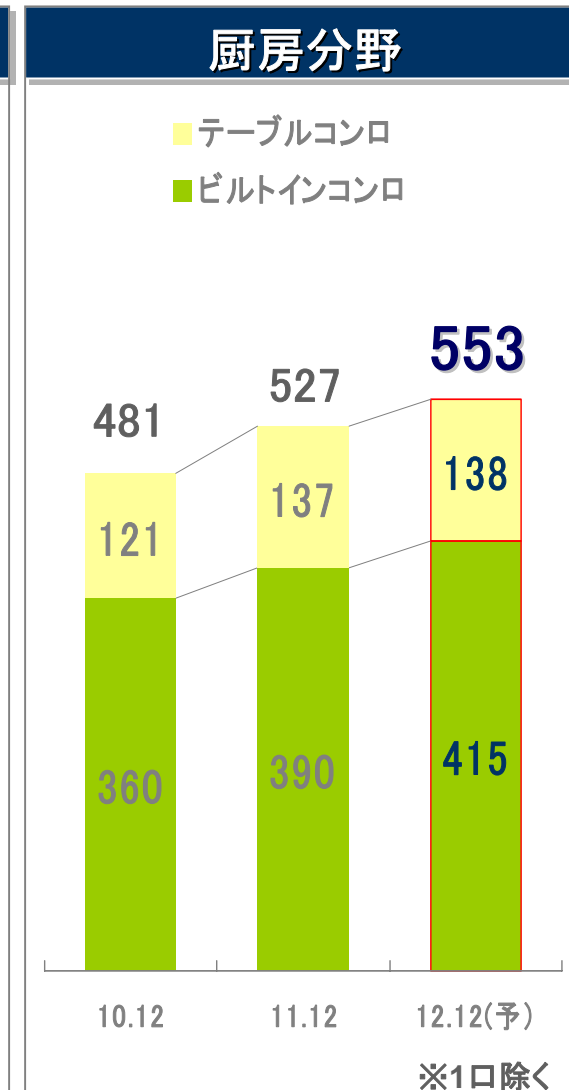
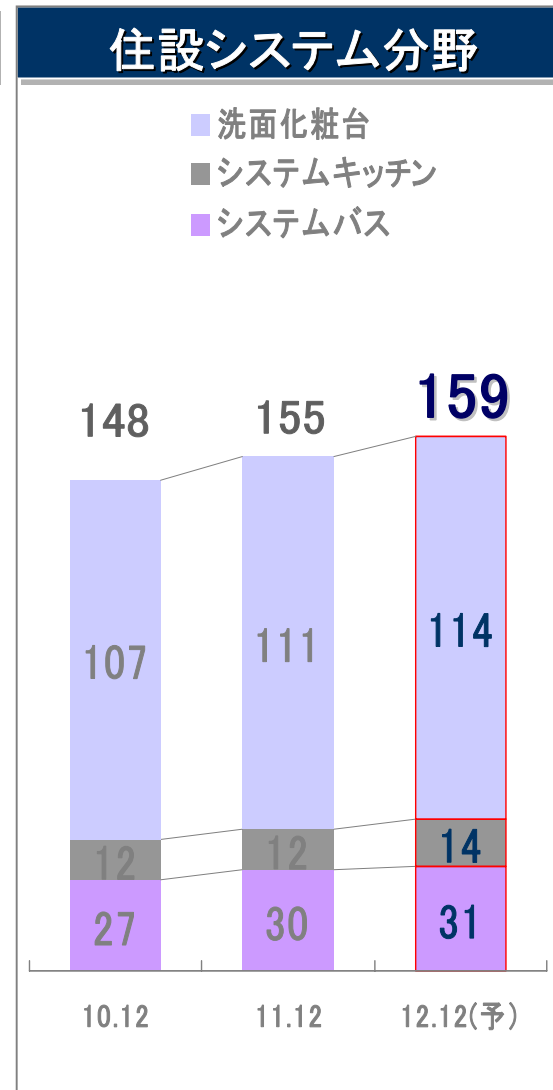
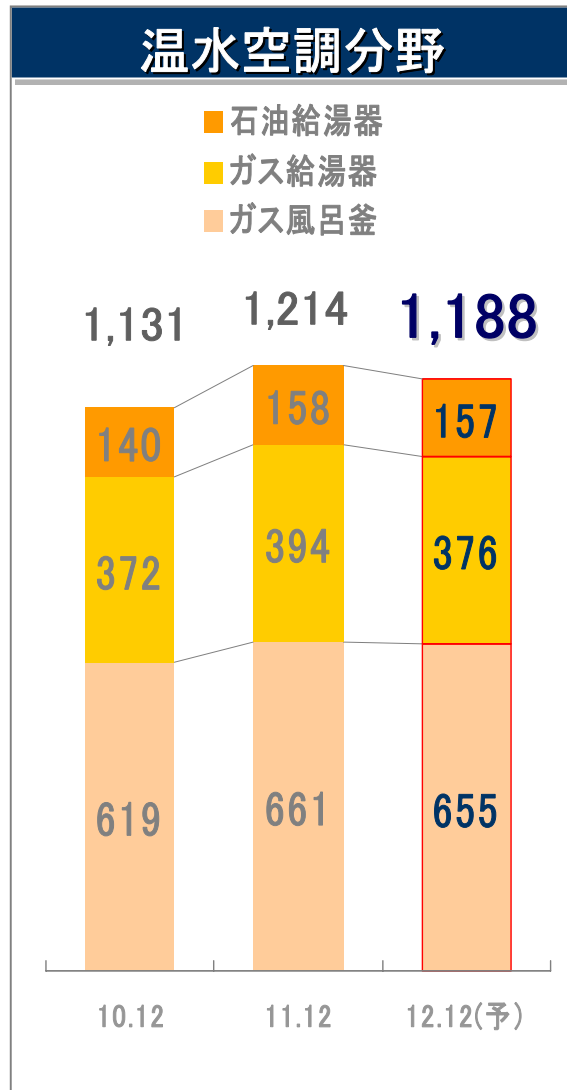


※10年新エネルギー分野は温水空調分野に含む

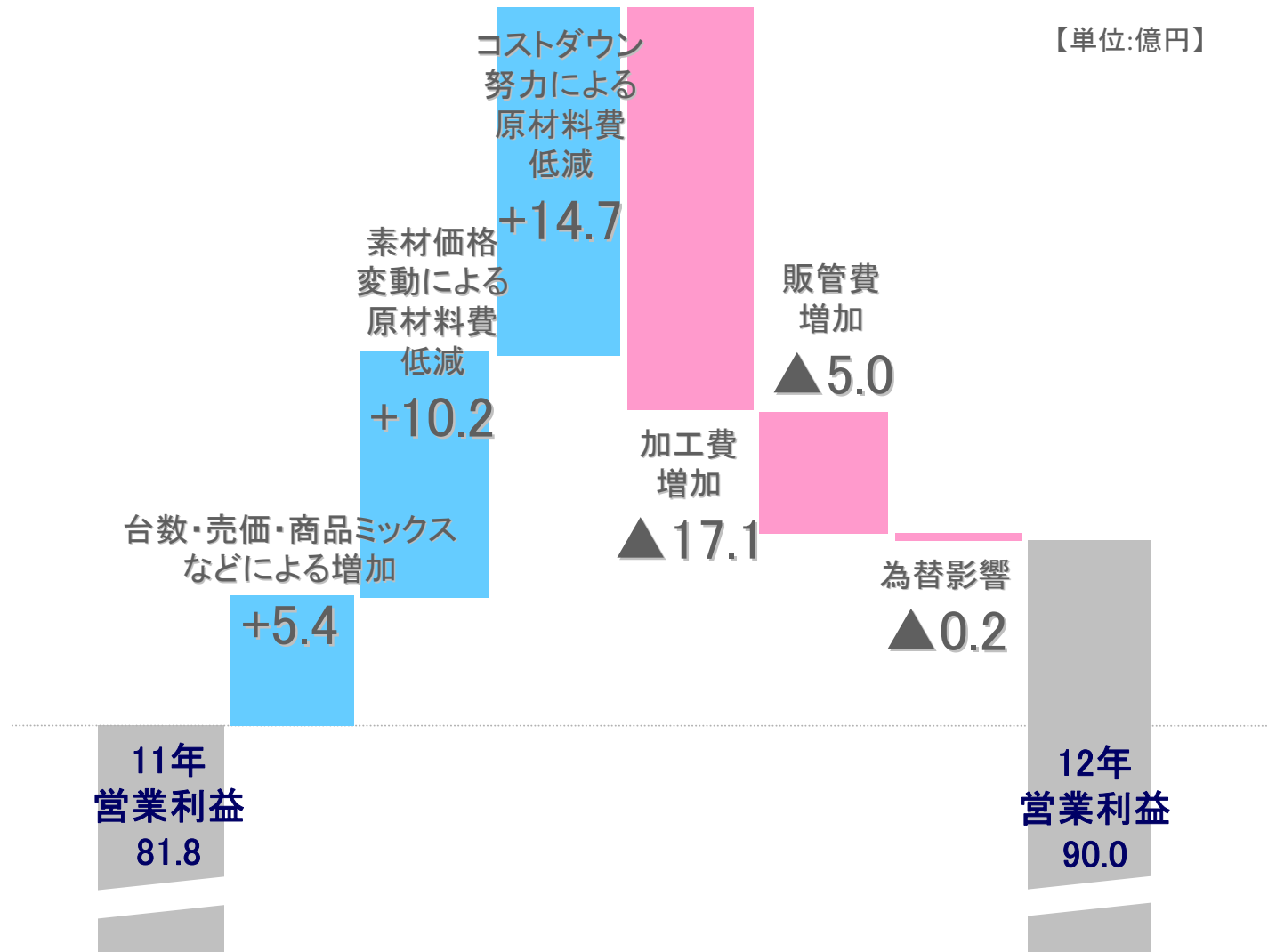
海外事業 エリア別計画



【単位:千台】



2012年(平成24年)12月期 経営計画 営業利益 増益計画

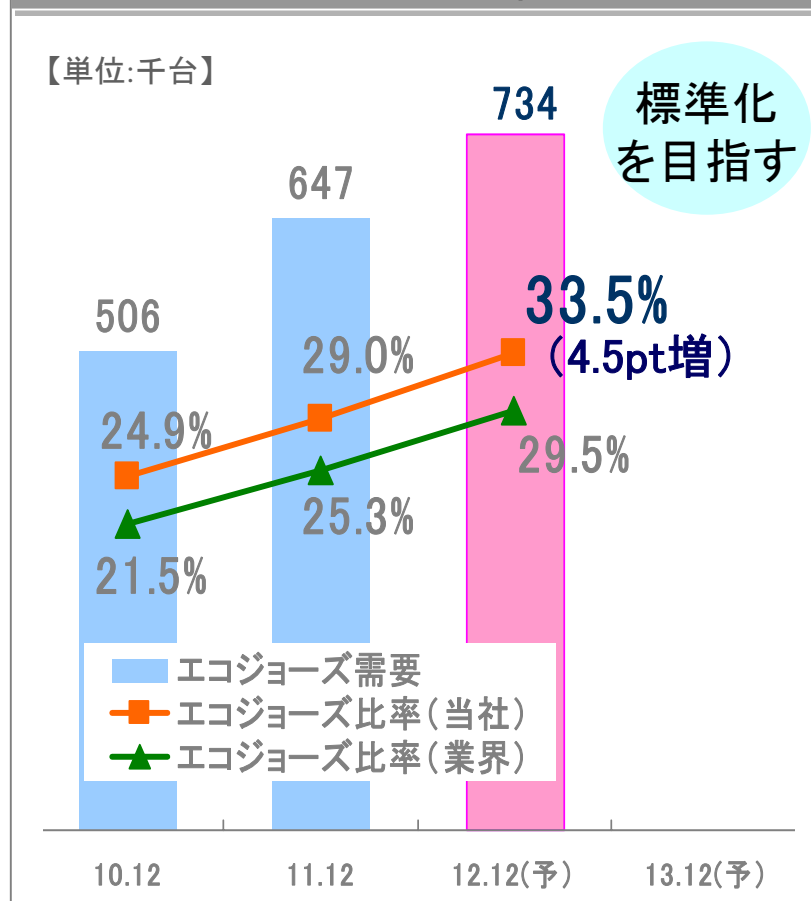




主な取り組み

エコジョーズ比率を高め収益を向上する

エコジョーズ比率計画



■ エコジョーズのラインアップ強化

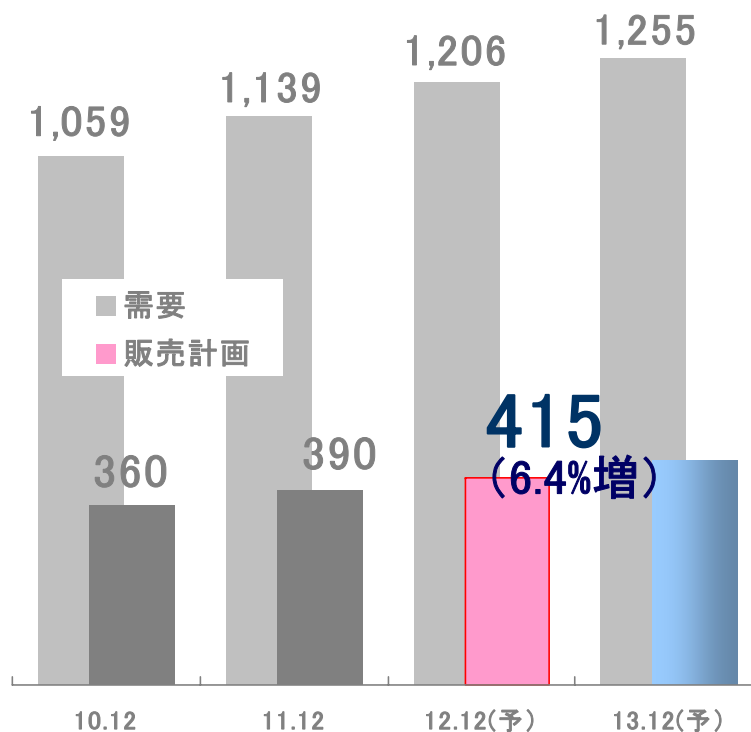
- ・既設集合にも提案可能なエコジョーズ発売
- ・エコジョーズGTタイプの製品統廃合



ガス需要拡大の機会を確実につかむ

ガスビルトインコンロ台数計画

【単位:千台】



■主力商品の拡販

- ・デザイン性と操作性を高めた新商品「S-Blink duo」「S-Blink revor」

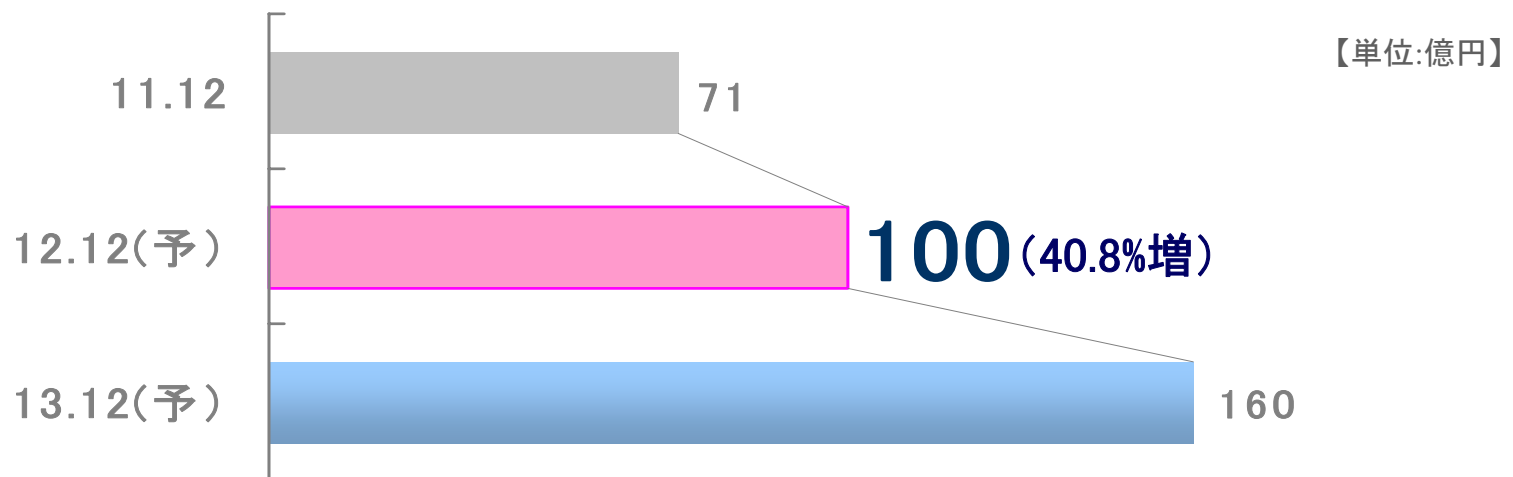


■営業力の強化

- ・ノーリツ、ハーマンの営業統合効果の最大化
 - ・厨房分野の営業効率向上
 - ・キッチン空間の提案力強化
 - ・営業拠点統合による固定費削減

成長分野の育成を加速する

新エネルギー分野計画



12年は太陽光発電、太陽熱温水器に注力する

開発力・生産能力の強化

- ・自動化設備の導入
- ・施工部材の拡充

販売体制の強化

- ・専任人員の増加
- ・産業用の取り組み強化

販売エリアを拡大する

■販売エリアの拡大

- ・江蘇省に合弁販売設立(11年11月)
- ・コストダウンを実現した主力商品の拡販
コンパクト化・快適性・静音性を高めた新商品の発売

■付加価値商材拡販と原価低減

- ・大能力で快適な商品の拡販
- ・部品内製化の推進



経営資源を集中し立て直しを図る

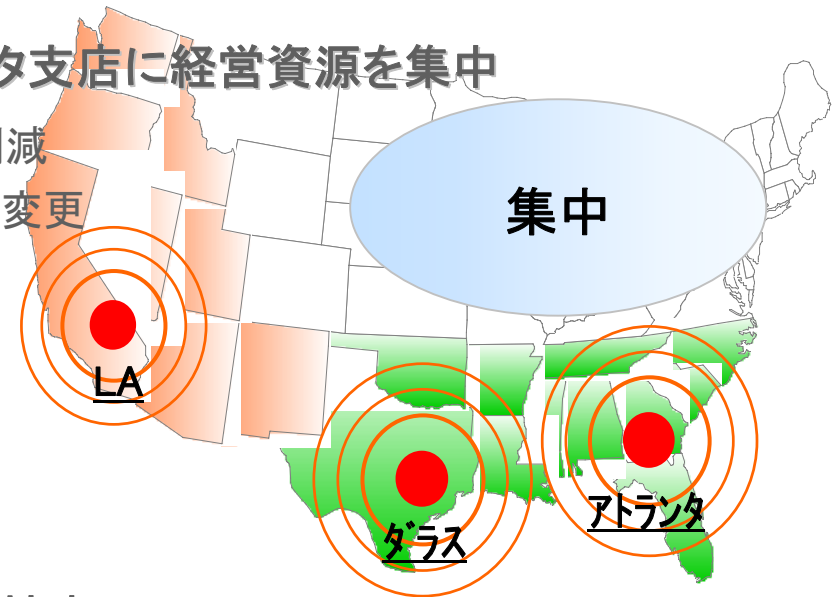
■ 経営資源の集中

- ・カリフォルニア本社、ダラス、アトランタ支店に経営資源を集中

組織のフラット化、スリム化による人員削減

シカゴ、ニューヨークエリアは営業方針を変更

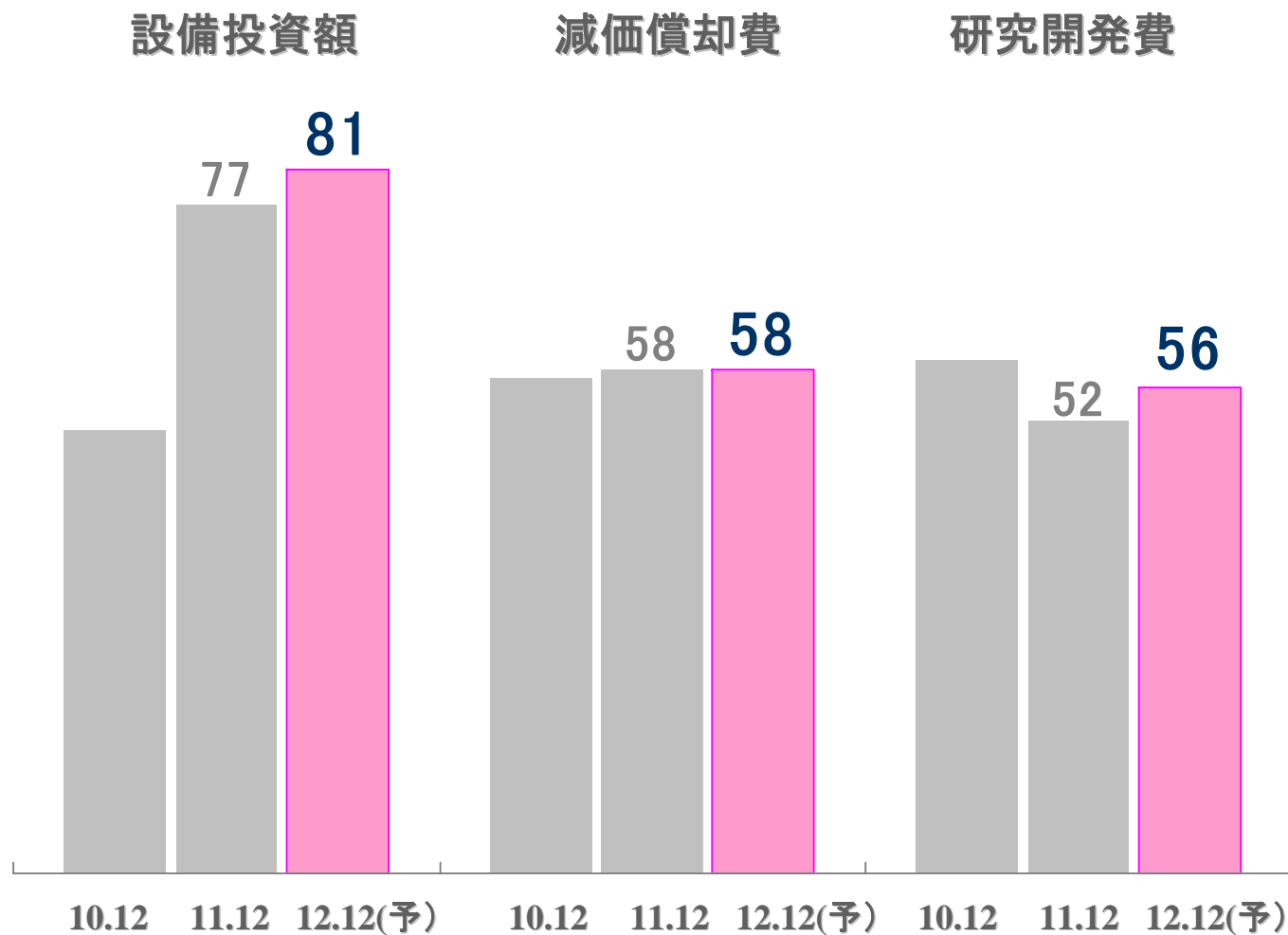
(Repの活用・育成)



■ 新商品の拡販

- ・コンデンシングタイプの拡販
- ・低Nox20ppm対応機種ラインアップ拡充

【単位:億円】



2012年(平成24年)12月期 CSR・環境の取り組み

地球の笑顔
森林育成プロジェクト

森林組合と連携、
間伐事業を支援し健全な育成

間伐事業を支援して
地球を笑顔に



兵庫県森林組合とタイアップ。
森林育成とカーボンオフセット
を推進。

人に笑顔
障がい者自立支援プロジェクト

福祉施設と連携、給湯器リサイクルを
通じて障がい者の就労機会の創出

給湯器リサイクルで、
人を笑顔に



福祉施設とタイアップ。障がい
者の方々がいつも笑顔で働け
る場所をつくる。
障がい者雇用率2.39%(+0.2pt)

暮しで笑顔
浴育・食育プロジェクト

浴育・食育をテーマに
お風呂文化と食文化を次世代に継承

お風呂と食の文化で、
暮らしを笑顔に



お風呂や食事という幸せな時間。
浴育や食育を通じて暮らしを楽し
くする。



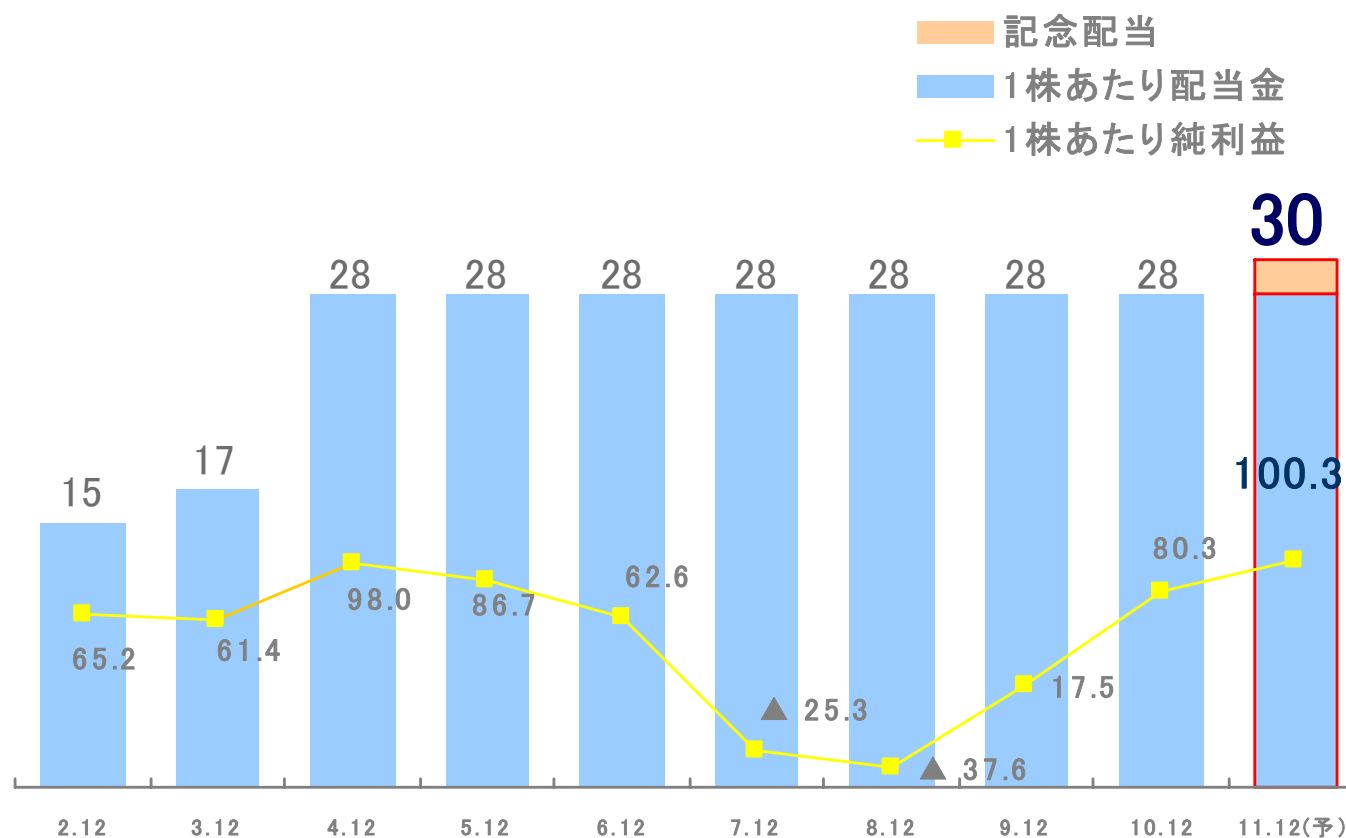
当社製品のライフサイクルを通しての年間CO2排出量は日本のCO2総排出量の1%にあたります。当社は環境省認定のエコファースト企業として本業を活かしたCO2削減活動に積極的に取り組んでいます。

エコファーストの約束(抜粋)

エコファースト基準	指標	基準値	2010	2011	2012 (計画)	2016 (計画)	2020 (計画)
高効率温水機器と創エネルギー危機の開発と普及に積極的に取り組み、16年までに従来型ガス石油温水機器に比べ家庭の使用時のCO2排出量を20万t/年削減することを目指します。(2000年比)	CO2削減量 (2000年比) ※5.04t-CO2/年/世帯	-	6 (1.2万世帯)	7.4 (1.5万世帯)	10 (2万世帯)	20 (4万世帯)	-
高効率温水機器及び、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特徴を活かした普及促進に積極的に取り組みます							
グリーンプロモーションを強化し、「CO2の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまに分かりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します							
国内事業所におけるCO2総排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することをめざします。	排出量 (万t-CO2)	2.36	2.29	2.16	2.12	1.89	1.77
	削減率	100%	△3.0%	△8.5%	△10.0%	△20.0%	△25.0%

2012年(平成24年)12月期 配当予定

2011年12月期は設立60周年という節目となるため、記念配当2円を実施する予定です。今後も引き続き、安定配当を目指します。



新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて
暮らしの感動を追求するノーリツグループ

IRに関するお問い合わせ先
株式会社ノーリツ 広報・IR室
TEL:078-334-2801

<http://www.noritz.co.jp/ir.html>

